

まんざい
万歳ごうし節
(本調子)

まんざい やんざい
万歳ごうすいや 行脚ごうすいや
にくわち うふだ ふまつり
二月御穂立てい穂祭や
ていん くだ なん ふいどい ゆ ふいどい
天ゆり下りぬ何ぬ日取や良い日取
め んぶ いし がっ
米や重さい 石や軽さい
ていん くだ ぬぬういじょうじ あやういとうく
天ゆり下りぬ布織上手ぬ綾織男ぬ
にしち ちんらん からう ちんらん
錦ぬ金欄 唐芋ぬ金欄
うとく ちょうじゃ にんま ちょうじゃ
男ぬ長者ぬ 荷馬ぬ長者ぬ
にうい
荷負ゆわりてい やんざゆわりてい
やんざやんざと馬乗てい通りば
いちだん ふ
一段と誉みらりた
きゆ あちゃ うゆうえくと
今日ん明日ん御祝事ゆ

万歳講者は 行脚講者は
二月に麦の穂祭りは 天より下りて来た
何の日取が 良い日取
米は重いが 石は軽い
天より下りて来た 布織上手が綾織り男が
錦の金欄を着て 唐芋の金欄を着て
男の長者や荷馬の長者や
荷負い祝って 行脚祝って
やんざやんざと馬に乗って通ると
また一段と誉められた
今日も明日もお祝い事が続く

たかてらまんざい
舞踊「高平良万歳」の一節

仇討ちを志した兄弟が、敵の面前で遊芸人になりすまして踊る場面で唄います。

